

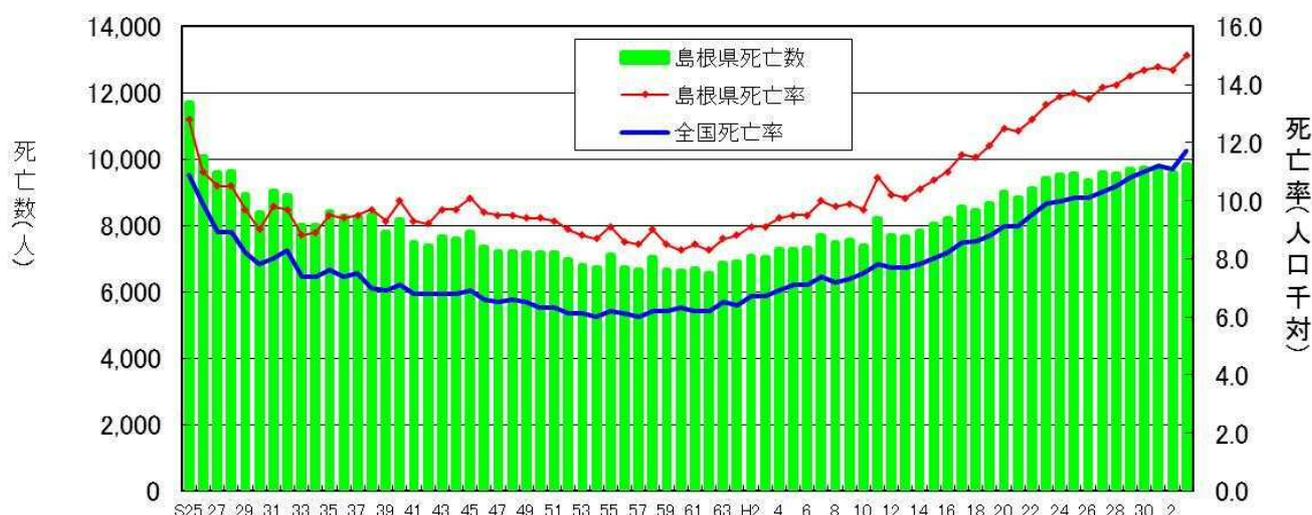
### 3 死亡

#### (1) 死亡数・死亡率

令和3年の死亡数は9,847人で、前年の9,585人より262人増加し、死亡率（人口千対）は15.0で、前年の14.5から0.5増加した。

死亡率の年次推移をみると、戦後急速に低下したが昭和30年代半ばから低下傾向が緩やかになり、昭和63年からは人口の高齢化に伴って再び上昇し始め、その後も上昇傾向を続けている（図4）。

図4 死亡数・死亡率の年次推移



年齢階級別に死亡率（人口10万対）をみると、10～14歳、20～24歳、40～44歳、50～54歳、60～64歳、70～74歳、75～79歳、80歳以上の各階級が前年より増加し、0～4歳、5～9歳、15～19歳、25～29歳、30歳代、45～49歳、55～59歳、65～69歳の各階級が前年より減少した。特に80歳代の増加が大きい。

死亡率性比（男性の死亡率／女性の死亡率×100）を年齢階級別にみると、0～4歳及び20歳以上の各階級において100以上となっており、男性の死亡率が高いことを示している（表4）。

表4 年齢（5歳階級）別死亡数・死亡率（人口10万対）・死亡率性比

年齢階級	死亡数			死亡率			死亡率性比
	令和3年	令和2年	対前年増減	令和3年	令和2年	対前年増減	
総数	9,847	9,585	262	1,503.4	1,447.6	55.8	101.8
0～4	5	15	△ 10	21.7	61.8	△ 40.1	366.7
5～9	0	1	△ 1	0.0	3.6	△ 3.6	-
10～14	3	2	1	10.3	6.9	3.4	0.0
15～19	5	6	△ 1	16.7	19.8	△ 3.1	21.9
20～24	11	11	0	45.8	44.3	1.5	380.8
25～29	6	12	△ 6	24.0	46.4	△ 22.4	184.6
30～34	16	17	△ 1	55.2	57.3	△ 2.1	404.4
35～39	18	24	△ 6	52.9	69.4	△ 16.5	117.6
40～44	30	29	1	76.9	72.2	4.7	142.5
45～49	71	75	△ 4	157.8	168.3	△ 10.5	187.3
50～54	95	88	7	237.5	230.5	7.0	163.9
55～59	118	129	△ 11	318.9	326.7	△ 7.8	187.8
60～64	237	213	24	551.2	485.3	65.9	264.6
65～69	415	444	△ 29	864.6	881.4	△ 16.8	291.5
70～74	827	709	118	1,378.3	1,273.9	104.4	264.5
75～79	838	878	△ 40	2,264.9	2,240.1	24.8	219.2
80～	7,151	6,932	219	8,513.1	8,255.0	258.1	141.3

注1) 死亡率性比=男性の死亡率/女性の死亡率×100

2) 令和3年は年齢不詳が1人いるため、死亡総数と年齢階級別死亡数の合計は一致しない

## (2) 死因

### ①死因順位

令和3年の死亡数を死因順位別に見ると、第1位は悪性新生物で2,544人（人口10万対死亡率388.4）、第2位は心疾患で1,350人（206.1）、第3位は老衰で1,217人（185.8）となっている（表5）。なお、全国の死因は、第1位が悪性新生物、第2位が心疾患、第3位が老衰となっている。

主な死因の年次推移を見ると、悪性新生物による死亡率は上昇を続け、昭和59年以降、死亡原因の第1位となった。心疾患の死亡率は、平成12年に死亡原因第2位となって以降上昇傾向にある。老衰の死亡率は、ほぼ横ばいに推移していたが、平成19年以降上昇し続けている。脳血管疾患の死亡率は、平成12年以降概ね横ばいで推移していたが、近年下降傾向にある。（図5）。

また、死因別の死亡率を都道府県別に比較した場合、本県は老衰（第3位）、血管性及び詳細不明の認知症（全国第3位）、悪性新生物（第4位）の死亡率が高い水準を示している。

図5 主要死因の死亡率の年次推移

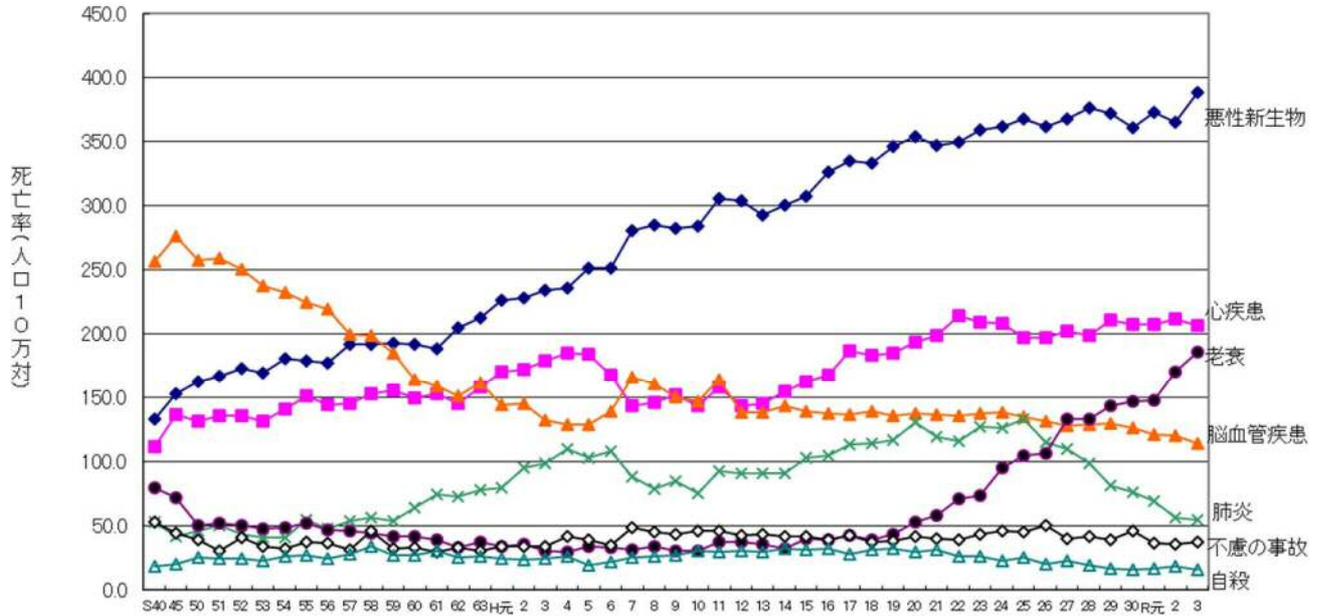


表5 死亡数・死亡率（人口10万対）・死因順位；性別

死 因	令和3年									令和2年		
	総数			男性			女性			総数		
	順位	死亡数	死亡率	順位	死亡数	死亡率	順位	死亡数	死亡率	順位	死亡数	死亡率
悪性新生物<腫瘍>	1	2,544	388.4	1	1,499	472.9	1	1,045	309.2	1	2,413	364.4
心疾患(高血圧性を除く)	2	1,350	206.1	2	572	180.4	3	778	230.2	2	1,401	211.6
老 衰	3	1,217	185.8	4	307	96.8	2	910	269.2	3	1,124	169.8
脳血管疾患	4	749	114.4	3	344	108.5	4	405	119.8	4	795	120.1
誤嚥性肺炎	5	375	57.3	6	217	68.5	7	158	46.7	6	332	50.1
肺炎	6	356	54.4	5	224	70.7	8	132	39.1	5	373	56.3
不慮の事故	7	246	37.6	7	137	43.2	9	109	32.2	8	234	35.3
アルツハイマー病	8	235	35.9	14	62	19.6	5	173	51.2	7	249	37.6
血管性及び詳細不明の認知症	9	234	35.7	13	69	21.8	6	165	48.8	9	217	32.8
腎 不 全	10	181	27.6	9	93	29.3	10	88	26.0	10	183	27.6

注1) 令和2年は確定数

2) 男性の8位は「慢性閉塞性肺疾患」で死亡数113 死亡率35.6。10位は「間質性肺疾患」で死亡数86 死亡率27.1である。

## ②年齢別死因

令和3年の死因を性・年齢（5歳階級）別構成割合から見ると、自殺の占める割合は女性が10～14歳、男性においては20～24歳、25～29歳、30～34歳が高くなっている。また死因順位第1位の悪性新生物の占める割合は、男性は概ね30歳代から増加し、65～69歳がピークとなっている。女性は30～34歳が最も高く、概ね50代、60～64歳では5割以上を占めている（図6）。

図6-1 性・年齢（5歳階級）別に見た主な死因の構成割合（男性）

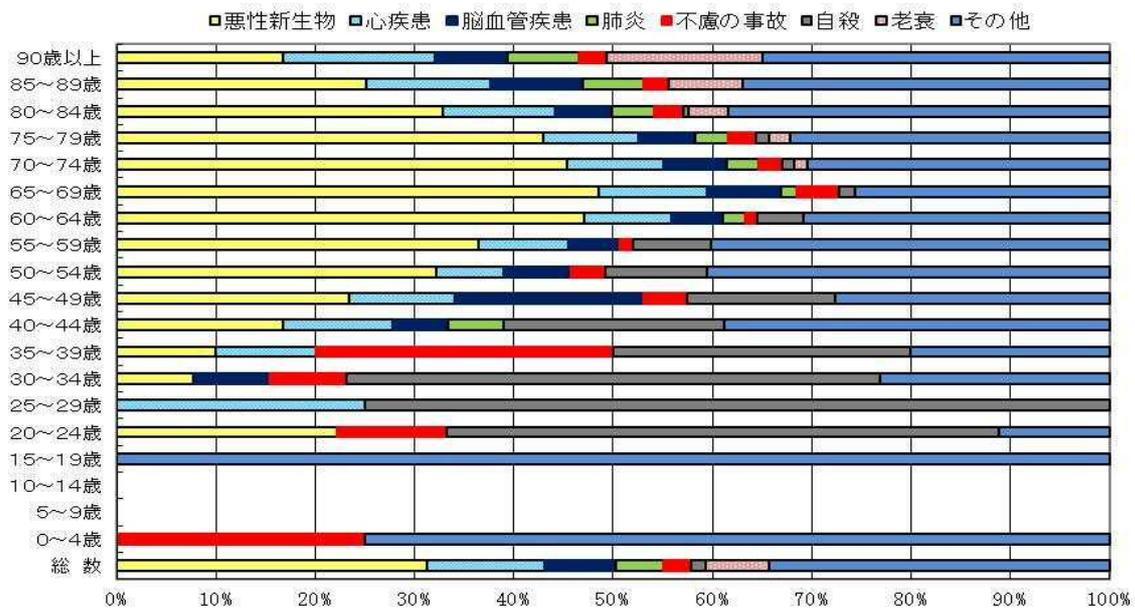
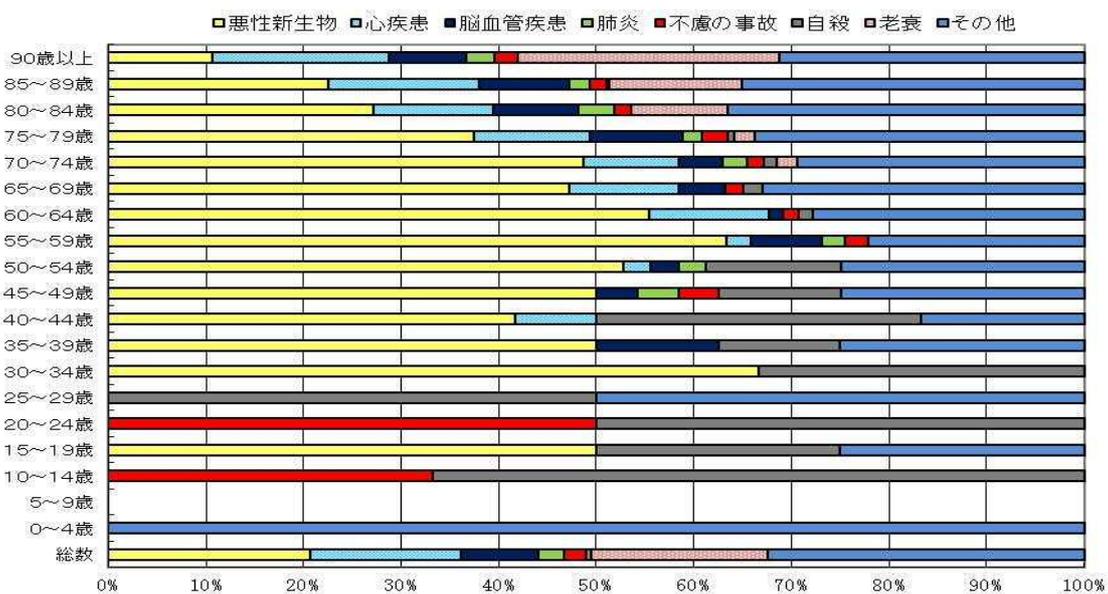


図6-2 性・年齢（5歳階級）別に見た主な死因の構成割合（女性）



### ③部位別に見た悪性新生物

悪性新生物について死亡数、死亡率（人口10万対）を主な部位別に見ると、男性では胃、肺、膵、大腸が上昇し、令和3年の死亡数は順に191人、359人、128人、168人、死亡率は順に60.3、113.2、40.4、53.0となっている。女性では胃、膵、乳房、子宮、大腸が上昇し、令和3年の死亡数は順に118人、155人、71人、31人、173人で、死亡率は順に34.9、45.9、21.0、9.2、51.2となっている。（表6、図7）。

**表6 悪性新生物の主な部位別死亡数・死亡率（人口10万対）の年次推移**

#### 死亡数

性別	部位	S30	40	50	60	H8	12	17	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R元	2	3
男性	胃	250	314	293	273	263	267	230	227	242	230	218	237	216	208	207	197	176	164	<b>191</b>
	肺	19	61	82	169	250	299	363	301	352	305	347	336	363	319	305	328	361	308	<b>359</b>
	肝	54	55	65	121	206	208	191	173	155	159	143	159	137	141	122	115	129	133	<b>113</b>
	膵	8	23	26	54	84	92	89	113	100	101	114	119	119	137	118	107	112	104	<b>128</b>
	大腸*	23	42	48	79	151	163	164	168	177	192	157	175	171	178	158	148	174	142	<b>168</b>
女性	胃	165	179	202	149	159	137	152	137	137	146	149	134	116	109	130	115	122	111	<b>118</b>
	肺	8	18	32	52	109	98	107	123	101	137	112	126	118	128	139	129	124	134	<b>118</b>
	肝	37	33	35	55	89	99	90	88	85	84	103	80	76	90	88	64	57	74	<b>57</b>
	膵	6	17	24	40	68	89	92	99	128	96	101	92	115	133	121	117	132	127	<b>155</b>
	乳房	18	16	25	28	38	43	54	65	56	62	63	67	72	78	55	73	87	59	<b>71</b>
	子宮	93	71	57	40	38	25	21	36	30	30	34	35	29	26	33	38	35	27	<b>31</b>
大腸*	30	44	48	85	123	125	150	140	154	153	165	150	160	159	177	173	169	164	<b>173</b>	

#### 死亡率

性別	部位	S30	40	50	60	H8	12	17	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R元	2	3
男性	胃	54.7	79.8	80.0	71.7	71.7	73.7	65.2	66.5	71.4	68.2	65.3	71.4	65.3	63.2	63.5	60.8	54.8	51.3	<b>60.3</b>
	肺	4.2	15.5	22.4	44.4	68.1	82.6	102.8	88.2	103.8	90.5	103.9	101.2	109.7	97.0	93.6	101.2	112.5	96.3	<b>113.2</b>
	肝	11.8	14.0	17.7	31.8	56.1	57.4	54.1	50.7	45.7	47.2	42.8	47.9	41.4	42.9	37.4	35.5	40.2	41.6	<b>35.6</b>
	膵	1.8	5.8	7.1	14.2	22.9	25.4	25.2	33.1	29.5	30.0	34.1	35.8	36.0	41.6	36.2	33.0	34.9	32.5	<b>40.4</b>
	大腸*	5.0	10.7	13.1	20.7	41.1	45.0	46.5	49.2	52.2	57.0	47.0	52.7	51.7	54.1	48.5	45.7	54.2	44.4	<b>53.0</b>
女性	胃	34.9	41.8	50.4	35.8	39.8	34.7	39.3	36.9	37.1	39.9	41.0	37.2	32.4	30.7	37.0	33.0	35.5	32.4	<b>34.9</b>
	肺	1.7	4.2	8.0	12.5	27.3	24.8	27.6	33.1	27.4	37.4	30.9	35.0	32.9	36.1	39.6	37.1	36.0	39.2	<b>34.9</b>
	肝	7.8	7.7	8.7	13.2	22.3	25.1	23.3	23.7	23.0	23.0	28.4	22.2	21.2	25.4	25.1	18.4	16.6	21.6	<b>16.9</b>
	膵	1.3	4.0	6.0	9.6	17.0	22.5	23.8	26.7	34.7	26.2	27.8	25.6	32.1	37.5	34.5	33.6	38.4	37.1	<b>45.9</b>
	乳房	3.8	3.7	6.2	6.7	9.5	10.9	14.0	17.5	15.2	16.9	17.4	18.6	20.1	22.0	15.7	21.0	25.3	17.2	<b>21.0</b>
	子宮	19.7	16.6	14.2	9.6	9.5	6.3	5.4	9.7	8.1	8.2	9.4	9.7	8.1	7.3	9.4	10.9	10.2	7.9	<b>9.2</b>
大腸*	6.4	10.3	12.0	20.4	30.8	31.7	38.8	37.7	41.7	41.8	45.5	41.7	44.7	44.8	50.4	49.7	49.1	47.9	<b>51.2</b>	

注：大腸の悪性新生物は、結腸と直腸S状結腸移行部及び直腸を示す。

ただし、昭和40年は十二指腸と小腸を含み、昭和50年は肛門を含む。

図 7-1 悪性新生物の主な部位別死亡率（人口 10 万対）の年次推移（男性）

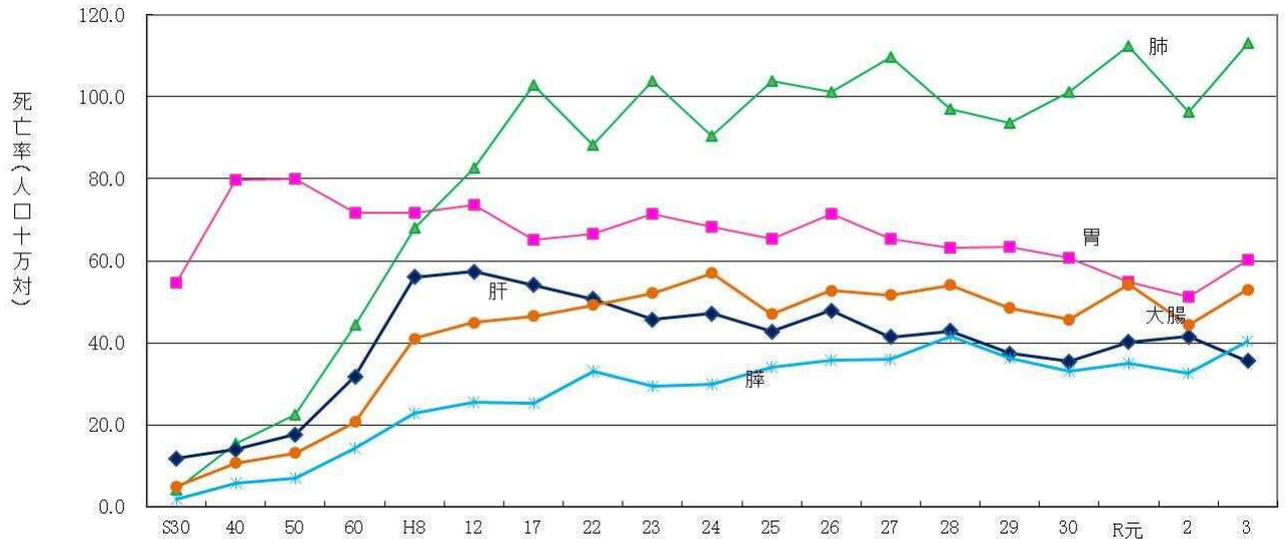


図 7-2 悪性新生物の主な部位別死亡率（人口 10 万対）の年次推移（女性）

